

079

隣家の眺望にも配慮しつつ、 2世帯の距離感を考えた家

海と山を一望する敷地。旗竿状のアプローチから、玄関の屋根が見えるように玄関部分を平屋とした。建物は周辺環境に配慮し、平屋と2階屋を組み合わせたL字型とし、ロフトのある平屋に親世帯、2階屋に子世帯の構成。南側のデッキは両世帯をつなげ、畑を囲み、日々の暮らしを満喫できる。内部はシンプルな架構とデザインを心掛け、紀州杉の力強い木組みと、大工・職人の手仕事が融合される空間を目指した。

与条件

家族構成：親世帯夫婦+子世帯夫婦
敷地条件：敷地面積 822.51m²
建ぺい率 50% 容積率 100%
間口約 2.5 mの旗竿状で、崖のある南側に眺望が開けている。

建て主の主な要望

- 眺望を楽しめ、空と風を感じられる家
- 裏の家の眺望を妨げない配置とボリューム
- 2世帯共有のウッドデッキ
- 座りたくなるようなリビングの階段



寝室と廊下を使って
2世帯の距離をとる



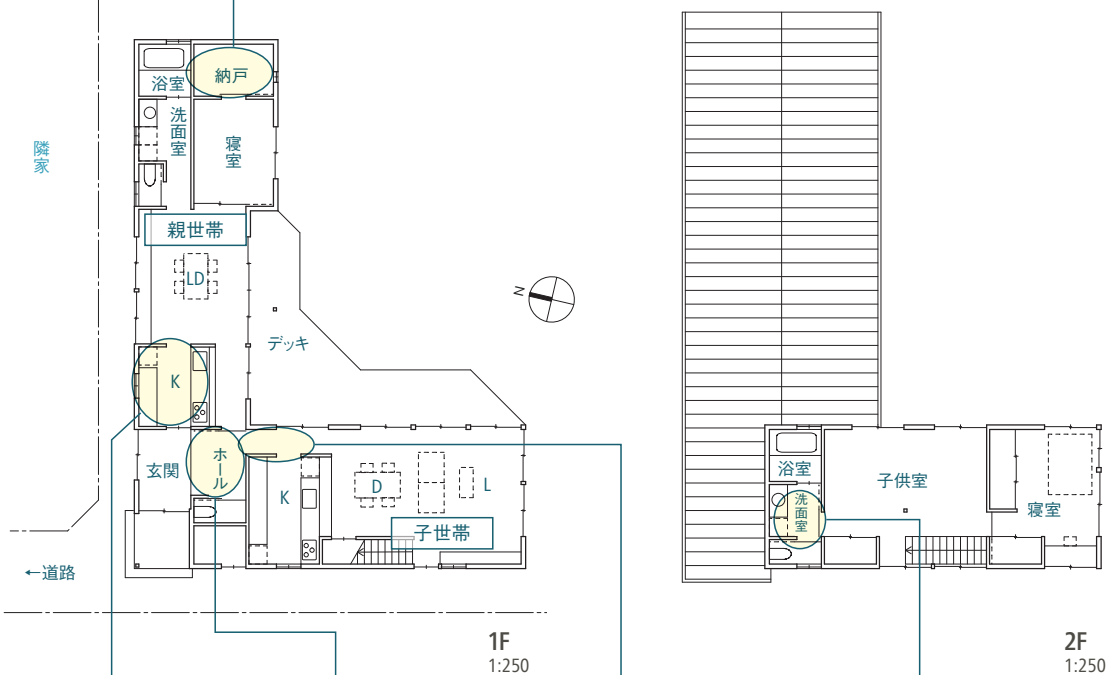
左：親世帯のLDK。大きな開口部からデッキへとつながる
右：子世帯のLDK。奥右側の床を少し高くして空間に変化を与える



2世帯間の関係が
ビミョーな間取り

もったいない!

東側には隣家もなく、塞ぐ必要のないところに納戸。東からの陽射しももったいない



ここでいいの?

親世帯のキッチンには、玄関土間からも直接入れる。だが、北側で、また子世帯と生活スペースが近すぎるのが難

出入りが近い!

共有の玄関から各世帯へ分かれる通路が近すぎる。親子関係にもよるが、近すぎず遠すぎずの距離感を生み出したい

キッチン丸見え!

LDに向かう途中にキッチン脇を通る動線。客もここを通るしかないで、キッチンのなかまで丸見えになる

収納が不足する

洗面室は、脱衣室にもトイレへの通路にもなるため、その分を空けておくと、収納スペースが十分に確保できない

寝室で距離をとる

寝室を北側かつ玄関側に置くことで、生活ゾーンが子世帯と離される。家の中心の大黒柱が、リビングと寝室の仕切りの位置となる

明るいキッチン

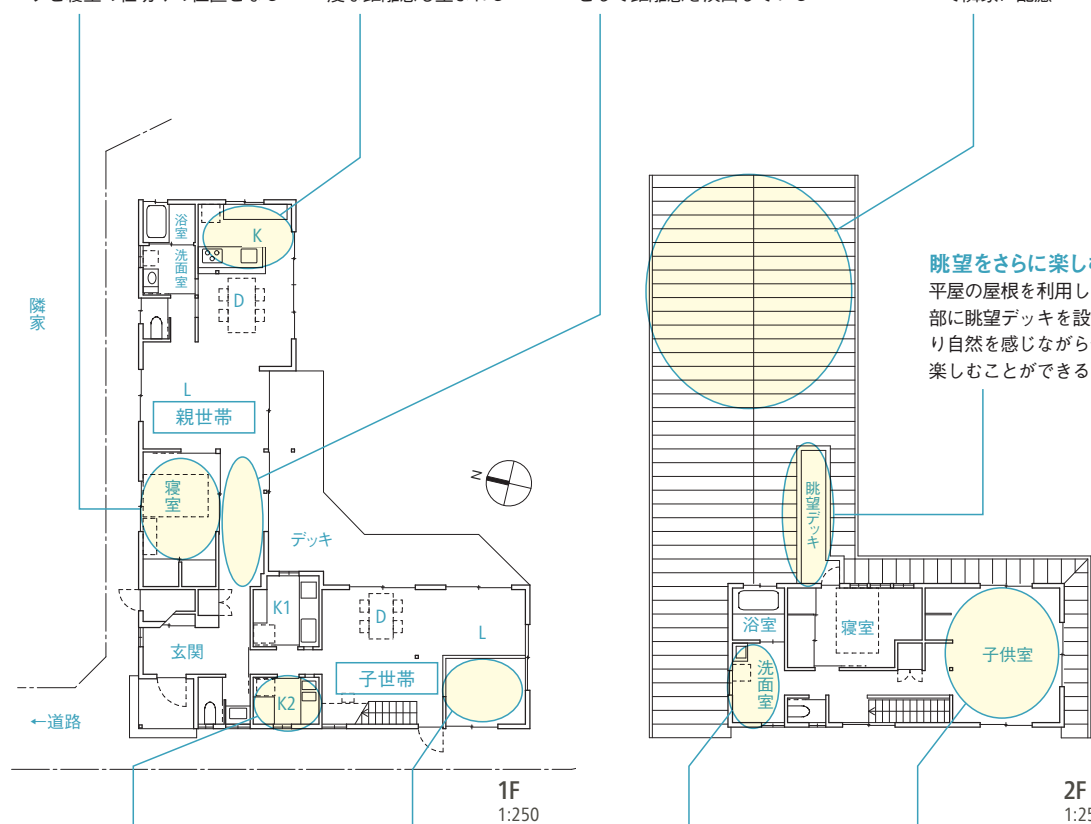
キッチンは明るい東側に配置している。子世帯と一番遠い位置となり、生活に適度な距離感も生まれる

廊下も無駄ではない!

一般に無駄な空間と思われがちな廊下だが、ここでは玄関から生活ゾーンに向かうアプローチとして距離感を演出している

隣にやさしい平屋

隣家の眺望を邪魔しないように、という要望を受けて、親世帯は平屋として隣家に配慮



第2のキッチン

主キッチンが小さくなった分をサブキッチンでフォロー。実は趣味のキッチンで、業務用機器のに入った力強い助っ人

リビングの変化

単調になりがちな広いLD空間だが、床の一部を20cm高くすることで変化を与える

広さを確保

トイレを階段側に出して、洗面室の広さを確保。収納スペースも十分に取れる広さに

子供室は南へ

夜間に使う寝室を北側へ、明るい時間から使う子供室を南側に配置。子供室は、将来仕切ったときに備え、2つの入口がつくれるよう配慮

敷地面積 / 822.51m²
延床面積 / 162.61m²
設計 / 加賀妻工務店 (高橋一総・代田倫子)
名称 / 二宮・空と海を望む丘の上の家